

埼玉県SDGsパートナー登録 取組事項の記載例

現状値＜2030年（現状より好転）となるよう
指標を設定

三側面		取組事項	具体的取組①or②	現状値（数値は一例です）	2030年の指標（数値は一例です）	備考
環境	1	CO2削減のため、省エネ機器の導入/省エネ行動の徹底などにより、エネルギー使用量を削減	電気使用量の削減	25,000kwh/年【2024年】	20,000kwh/年	
	2	再生エネルギー利用率を増加させる。	再生可能エネルギー利用率の向上	10%【2024年】	40%	
	3	ペーパーレス推進のため、DX化に取り組む。	コピー用紙使用量の削減	1万枚/年【2024年】	3千枚/年	
	4	CO2排出量削減のため、社有車の環境配慮型車両に順次入れ替える	環境配慮型車両の導入率向上	30%（3台/10台）【2024年】	100%（10台/10台）	
	5	CO2排出量削減のため、社有車の環境配慮型車両に入れ替える	平均燃費の向上	10km/ℓ【2024年】	14km/ℓ	
	6	CO2排出量削減のため、〇〇（環境配慮型車両に入れ替え/エコドライブの徹底）など（により	燃料使用量の削減（1台当たり）	800ℓ/年【2024年】	600ℓ/年	
	7	【具体的な取組】により、CO2排出量を削減する。	CO2排出量の削減	●t-CO2/年【2024年】	【2024年】から5%以上削減（●L/年）	
	8	【具体的な取組】により、産業廃棄物（種類）の排出量を削減する。	廃棄物排出量の削減	3t/年【2024年】	2.4t または 2024年比20%削減	
	9	【具体的な取組】により、水道使用量を削減する。	水道使用量の削減	●t(m³)/年【2024年】	【2024年】から10%以上削減（●t(m³)/年）	
	10	屋上/壁面の緑化/敷地への植樹 により、事務所の緑化を積極的に推進する。	緑化面積の増加	3平米【2024年】	7平米	
社会	1	地域の環境美化活動に積極的に行う。	環境美化活動	2回/年 のべ6人参加 【2024年】	5回/年 のべ10人参加	
	2	彩の国ロードサポート活動を積極的に行う。	彩の国ロードサポート活動	2回/年 のべ30人参加 【2024年】	5回/年 のべ75人参加	
	3	川の国応援団活動を積極的に行う。	川の国応援団活動	2回/年 のべ20人参加 【2024年】	5回/年 のべ50人参加	
	4	祭事など地域行事運営への協力	協力活動	2回/年 のべ6人参加 【2024年】	3回/年 のべ9人参加	
	5	【緑の募金/日本赤十字/赤い羽根共同募金/児童養護施設/等】への寄附を行う。	寄付活動	30,000円/年【2024年】	50,000円/年	他の取組と併記の場合、寄付額は同額でも可）
	6	インターンシップ(職場見学)の受入を行う。	受入回数・人数	2回/年・のべ4人受入れ【2024年】	3回/年・のべ6人受入れ	
	7	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性を管理職へ積極的に登用する。	女性管理職数の増加	2人(全管理職10人)【2024年】	5人	
	8	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用者数を増やす。	高齢者雇用者数の増加	2人(全雇用者数20人)【2024年】	5人	
	9	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用率を向上させる。	高齢者雇用率の向上	10%(2人/全雇用者数20人)【2024年】	20%	
	10	【具体的な取組】により若年層(30歳以下)雇用者数を増やす。	若年層の雇用数の増加	10人(全雇用者数30人)【2024年】	15人	
	11	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用率を向上させる。	障害者雇用率の向上	3%(3人/全雇用者100人)【2024年】	4%	※法定雇用率以上
	12	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用者数を増やす。	障害者雇用者数の増加	3人(全雇用者数100人)【2024年】	5人	※法定雇用率以上
	13	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用者数を増やす。	外国人雇用者数の増加	2人(全雇用者数50人)【2024年】	5人	
	14	【具体的な取組】により年次有給休暇の平均取得日数を増やす。	年次有給休暇平均取得日数の増加	5日/年【2024年】	10日以上/年	
	15	【具体的な取組】により平均所定外労働時間を削減する。	平均所定外労働時間数の削減	25時間/月【2024年】	10時間/月	法定の月45時間を超えないこと。
	16	ワークライフバランス実現のため、男性の育児休業取得人数を増やす。	男性の育児休業取得人数の増加	3人/年【2024年】	6人/年	

三側面		取組事項	具体的取組①or②	現状値(数値は一例です)	2030年の指標(数値は一例です)	備考
経済	1	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職比率を向上させる。	女性管理職比率の向上	10%(女性管理職2人/全管理職20人)【2024年】	50%	
	2	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職数を増やす。	女性管理職数の増加	2人(女性管理職2人/全管理職20人)【2024年】	10人	
	3	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用率を向上させる。	高齢者雇用率の向上	10%(2人/全雇用者数20人)【2024年】	20%	
	4	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用者数を増やす。	高齢者雇用者数の増加	2人(全雇用者数20人)【2024年】	5人	
	5	【具体的な取組】により若年層(30歳以下)雇用者数を増やす。	30歳以下の雇用人数の増加	10人(全雇用者数30人)【2024年】	15人/年(または現状値から〇人増加)	
	6	多様な人材が活躍できる社会実現のため、法定を上回る障がい者雇用に取り組む。	障害者雇用率の向上	3%(3人/全雇用者100人)【2024年】	4%	※法定雇用率以上
	7	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用者数を増やす。	障害者雇用者数の増加	3人(全雇用者数100人)【2024年】	5人	※法定雇用率以上
	8	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用者数を増やす。	外国人雇用者数の増加	2人(全雇用者数50人)【2024年】	5人	
	9	ワークライフバランス向上のため年次有給休暇の平均取得日数を増やす。	年次有給休暇平均取得日数の増加	5日/年【2024年】	10日以上/年	
	10	【具体的な取組】により平均所定外労働時間を削減する。	平均所定外労働時間数の削減	30時間/月【2024年】	10間/月	法定の月45時間を超えないこと。
	11	ワークライフバランス実現のため、男性の育児休業取得人数を増やす。	男性の育児休業取得人数の増加	3人/年【2024年】	6人/年	
	12	地域の事業者との新規取引件数を増やす。	地域事業者との新規取引件数の増加	5件【2024年】	10件	
	13	事業に関係のある資格の取得数を増やす。	資格取得数の増加	〇〇(取得した主な資格の名称)などの取得:5種【2024年】	〇〇(取得した主な資格の名称)など:10種	
	14	【(事業に関係のある)資格名を記載】の資格取得者数を増やす。	【資格】取得者数の増加	5人【2024年】	10人	